

# Remote RAS設定手順 (for Pro-Server EX)

[English](#)

---

[はじめに](#)

[概要](#)

[Remote RAS設定手順](#)

[改定履歴](#)

---

## はじめに

このたびは、弊社製品をご使用いただき、誠にありがとうございます。  
ご使用にあたっては、このファイルを良くお読みいただき、正しい取り扱い方法と機能をご理解いただきますようお願いいたします。

1. 本製品およびこのファイルの内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
2. 本製品およびこのファイルの内容に関しては、将来予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
3. 本製品およびこのファイルの内容に関しては、万全を期して作成いたしました。が、万一誤りや記載もれなど、ご不審な点がありましたらご連絡ください。
4. 本製品を使用したことによるお客様の損害その他の不利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 記載の商品名や製品はそれぞれの所有者の商標です。
6. 本文書は、弊社または第三者が所有する知的財産権あるいはその他の権利について、実施に対する保証または実施権の許諾を行うものではありません。また、本書を使用したことにより第三者との間に知的財産権に関わる問題が生じた場合にも弊社は一切責任を負いません。

[トップへ戻る](#)

---

## 概要

本設定手順はデバイスの設定と監視するまでの手順になります。Pro-Server EXのその他の機能については、Pro-Server EXのリファレンスマニュアルを参照してください。また、監視をする際の制限事項に関しては、監視対象

[トップへ戻る](#)

---

## Remote RAS設定手順

[1. Remote RAS 設定ファイルのコピー](#)

[2. Pro-Studio EXの起動](#)

[3. 参加局の追加と編集](#)

[4. シンボルの追加と編集](#)

[5. プロジェクトファイルの保存とリロード](#)

[6. シンボルの状況監視](#)

[トップへ戻る](#)

---

### 手順 1. Remote RAS 設定ファイルのコピー

Remote RAS 設定ファイル[PL\_RAS.TBL]を、Pro-Server EXのテーブルファイルの保存フォルダ（デフォルト：C:\Program Files\Pro-face\Pro-Server EX\PLCTBL）にコピーします。

※コピーはPro-Server EXが起動していない状態で行ってください。

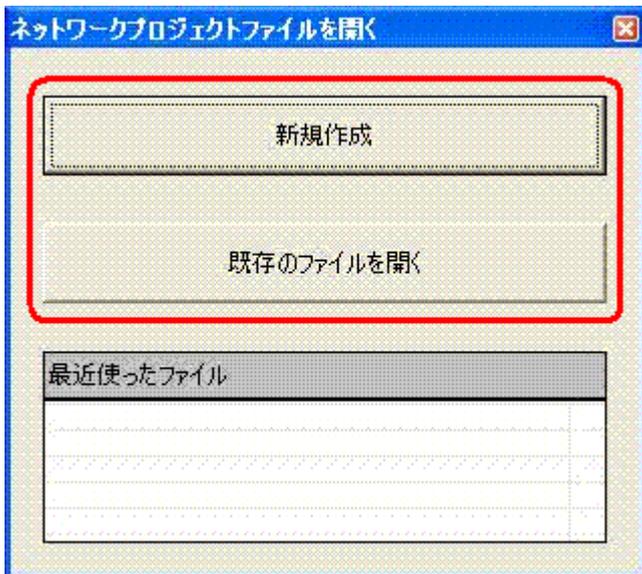
[Remote RAS設定手順へ戻る](#)

## 手順 2. Pro-Studio EXの起動

2.1 Pro-Studio EXを起動すると、Pro-Server EXがタスクトレイに常駐します。Pro-Server EXのアイコンを右クリックして表示されるメニューから [Pro-Studio EXの起動] を選択します。



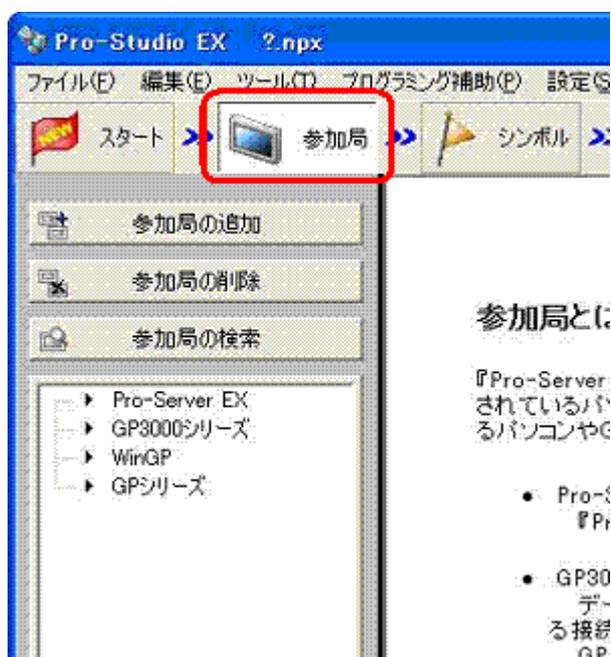
2.2 Pro-Studio EXが起動すると、[ネットワークプロジェクトファイルを開く] ダイアログが表示されますので、[新規作成] または [既存のファイルを開く] ボタンをクリックします。



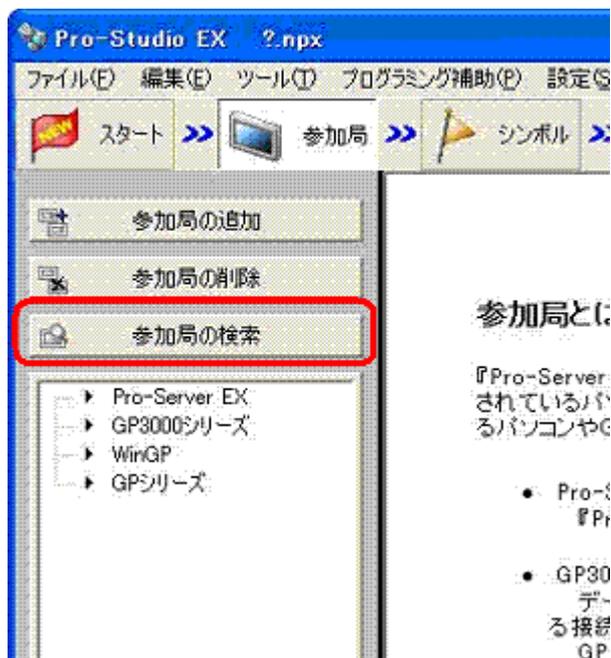
[Remote RAS設定手順へ戻る](#)

## 手順 3. 参加局の追加と編集

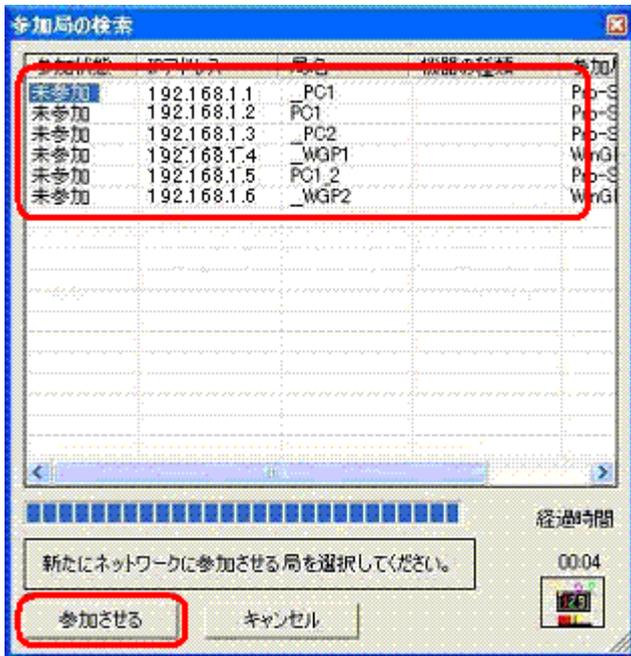
3.1 状態バーの[参加局]アイコンをクリックすると、画面左に下図の画面が表示されます。



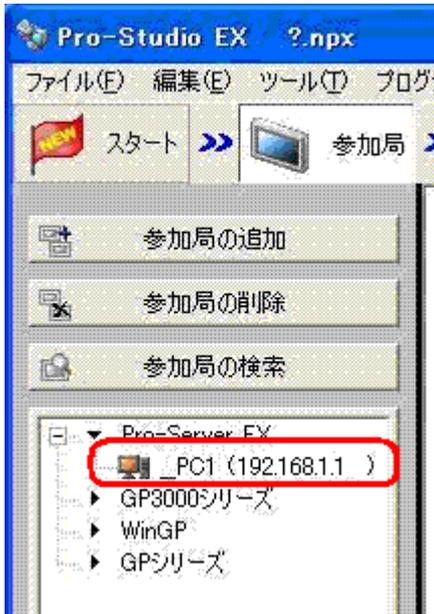
3.2 [参加局の検索]ボタンをクリックします。



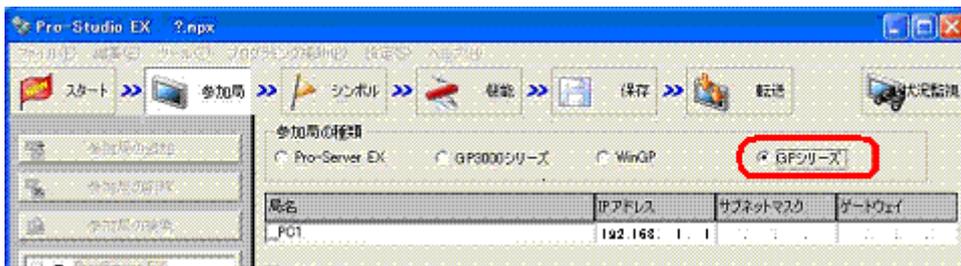
3.3 [参加局の検索]ダイアログが表示されますので、ターゲットIPCのIPアドレスを確認して一致する参加局を選択し、[参加させる]ボタンをクリックします。



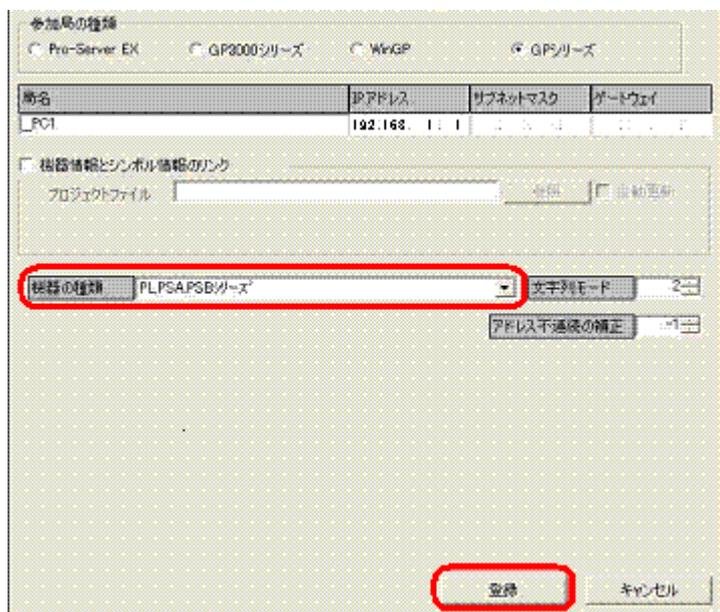
3.4 画面左のツリーの一覧に参加させた参加局が追加されます。



3.5 追加した参加局を選択し、[参加局の種類]を[GPシリーズ]にチェックをつけます。



3.6 [機器の種類]をプルダウンメニューの中から、[PL,PSA,PSBシリーズ]を選択し、設定します。[登録]ボタンをクリックします。



3.7 追加した参加局が、画面左のツリーの一覧のGPシリーズの下に移動します。

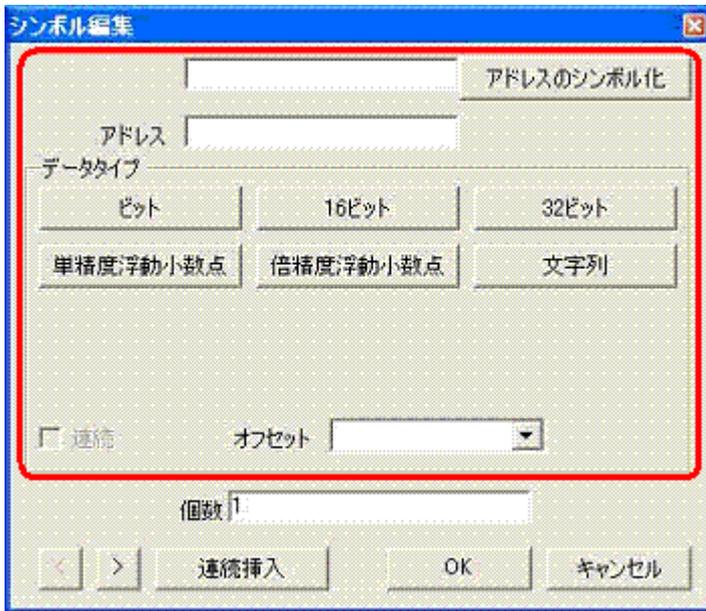


[Remote RAS設定手順へ戻る](#)

#### 手順 4. シンボルの追加と編集

4.1 状態バーの[シンボル]アイコンをクリックすると、画面左に下図の画面が表示されます。





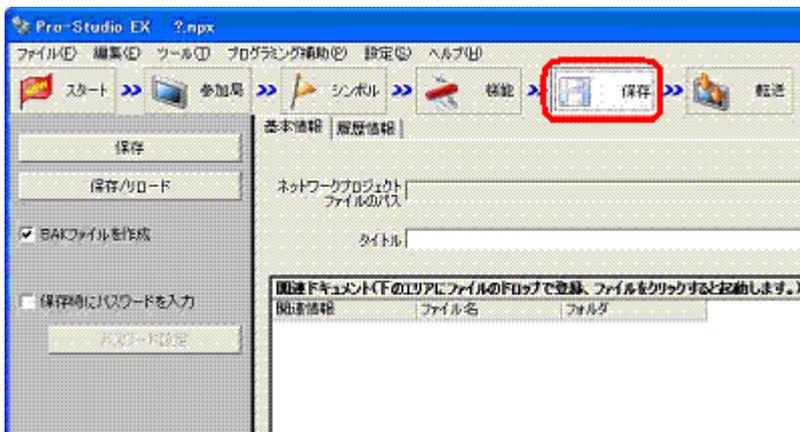
4.4 [シンボル編集]ダイアログでシンボルを追加すると、シンボルシートにシンボルが追加されます。



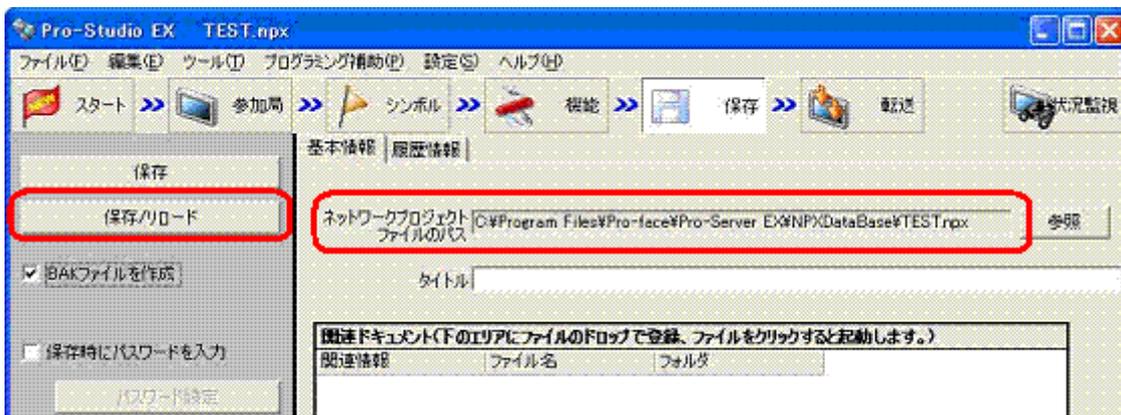
[Remote RAS設定手順へ戻る](#)

手順 5. プロジェクトファイルの保存とリロード

5.1 状態バーの[保存]アイコンをクリックすると、下図の画面が表示されます。



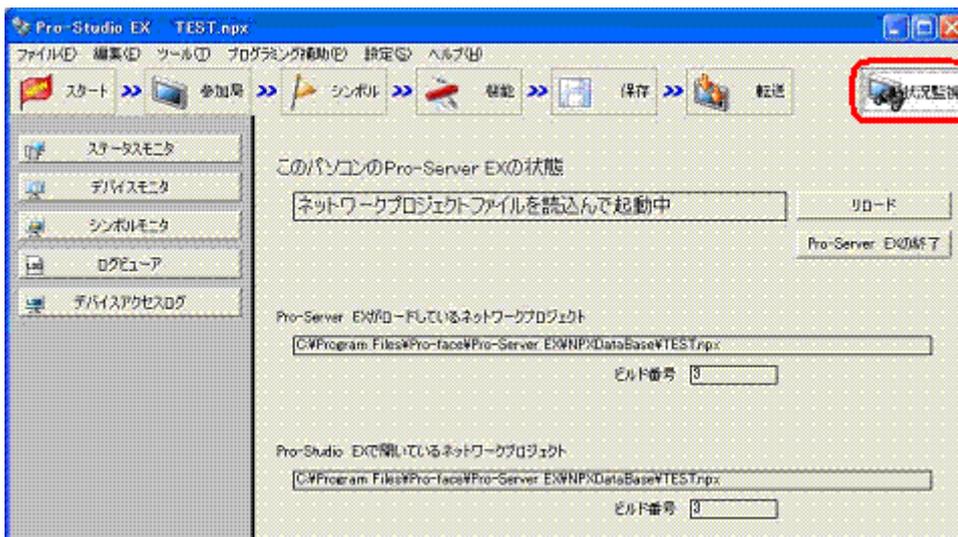
5.2 画面左の[保存/リロード]ボタンをクリックします。現在のネットワークプロジェクトが保存され、リロードされます。リロードされたネットワークプロジェクトが[ネットワークプロジェクトファイルのパス]に表示されます。



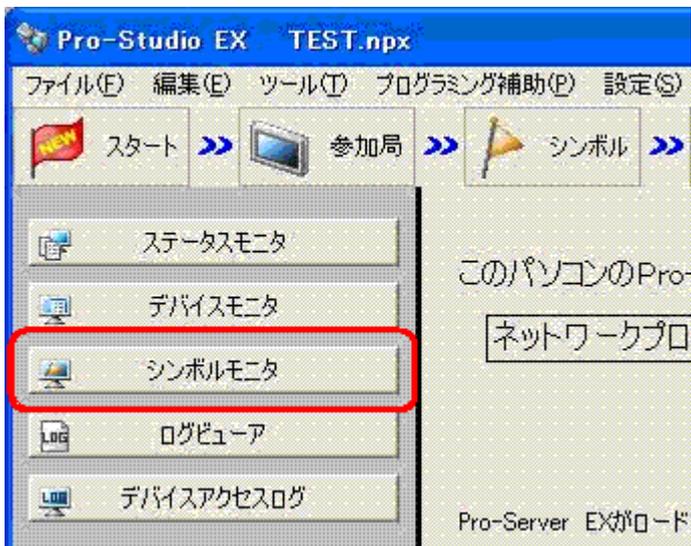
[Remote RAS設定手順へ戻る](#)

## 手順 6. シンボルの状況監視

6.1 状態バーの[状況監視]アイコンをクリックすると、下図の画面が表示されます。



6.2 [シンボルモニタ]ボタンをクリックします。



6.3 シンボルモニタが起動するので、[参加局]と[シンボルシート]を指定すれば、状況監視が開始されます。



[Remote RAS設定手順へ戻る](#)

## 改版履歴

2007/08/10 初版発行

[トップへ戻る](#)